

(1) 展示評価シート

一宮市博物館 1 階展示ホールにて展示中の「2024 年度博物館実習生展示」を見て、評価できる点と改善できる点をどんなことでも構いませんので、それぞれ最低 2 つ以上書いてください。

1. 展示全体

◆ 評価できる点

- ・ 全体的に見やすい。
- ・ 目玉となる資料が目につきやすい位置に配置されている。

◆ 改善できる点

- ・ キャプションにルビをつける。
- ・ パネルの文字が小さいので、大きくする。

2. 展示ケース 1(受付に近い方)

◆ 評価できる点

- ・ 大きな土器が展示されていることで「博物館に来た」という印象を受ける。
- ・ 展示物の大きさとパネルの位置がまとまって見やすい。

◆ 改善できる点

- ・ 1つ1つに「見どころはココ」という表示があると、子どもにもわかりやすくてよい。
- ・ サイズ表記があるとよい。

3. 展示ケース 2(階段に近い方)

◆ 評価できる点

- ・ 土器の大きさがそろっているので整った展示になっている。
- ・ 土器の形が面白く、来館者の興味をひいていると思う。

◆ 改善できる点

- ・ 壁のスペースが寂しく感じるのもっとパネルを増やす
- ・ 空間に余裕があるので、解説パネルをまとめずに各々につけた方がよい。

(2) 展示企画書

(1) の場所（一宮市博物館 1 階展示ホール）での展示企画書を Web 上で公開しているデータベース (<https://www2.icm-jp.com/>)を参照の上、作成してください。ただし、使用できる資料は、一宮市博物館所蔵の考古資料または美術工芸資料（陶磁器）に限ります。

1、展示のタイトル（テーマ）

土師器と須恵器～昔暗記したかもしれない土器たち～

2、展示したい資料

- ・ 土師器：壺
- ・ 土師器：器台
- ・ 須恵器：壺
- ・ 須恵器：器台

3、展示の対象（ターゲット）

- ・ 夏休みの子どもたち
- ・ 歴史に興味のある中高生、大人

4、展示の目的（伝えたいメッセージ）

同時期に出現し、テストのために暗記したかもしれない土師器と須恵器を題材に、両者の製作技法の違いを知ってもらう。

5、展示の概要（構成・手法など）

それぞれの土器の違いを同器種を並べることでわかりやすく展示。